

熊本市議会
[市民連合]

みなさん、こんにちは
市議会だよりです

2015年冬号
(通算 No.191)
(発行) 市民連合
市議会だより編集部
【議員室】TEL(096) 328-2650
FAX(096) 324-7777

第4回
定例会

一般・特別会計補正予算1億4,337万円可決
県民百貨店など閉店に伴う助成と支援を

第4回定例会は、12月11日(木)から開催され138議案を可決・承認し、12月25日(木)に閉会しました。予算案件では、一般、特別、会計補正予算案の7件を審議し、計1億4,337万円の予算を可決しました。結果、本年度の予算規模は、一般会計2,917億1,911万円、特別会計1,993億3,354万円、企業会計904億8,233万円。予算以外では、条例19、意見書4、その他96件を可決しました。

大西新市長が所信表明

12月11日の開会日に大西市長は冒頭、市長就任のあいさつとして、130項目のマニフェストの実現に向けて来年度に総合計画の全面的な見直しを行い、優先順位を明確にして取り組むこと。市政運営にあたっては、「聞く姿勢・話す姿勢・動かす市政」を心がけ、「地域主義」の理念のもと「誰



市民連合は大西市長に会派として、27年度予算要望書を提出し、8人の議員が趣旨を説明しました。写真は要望書を渡す田尻団長。

もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向けて全身全霊を傾ける覚悟を表明しました。補正予算の主な事業内容は以下の通りです。

【企画振興部門】

●総合行政情報システム再構築等経費(H26～H36年度債務負担行為50億3,000万円) ●市民活動支援センター運営業務委託(H26～H29年度債務負担行為1億1,150万円)

【教育部門】

●小学校教材購入経費(H26～H27年度債務負担行為6,000万円) ●特別支援学級・教室不足仮設建物整備(H26～H27年度1億2,650万円)

【健康福祉子ども部門】

●生活困窮者自立支援法関連経費(H26～H27年度債務負担行為6,170万円) ●児童育成クラブ・萱木集会所改修設計等業務委託(H26～H27年度債務負担行為340万円)

【環境部門】

●ごみ収集運搬業務関連経費(H26年度債務負担行為7,500万円)

【農水商工部門】

●県民百貨店等閉店に伴うテナント移転助成負担金補助、交付金(1,500万円) ●県民百貨店等



皆様にはご健康で新年を迎えられたことと存じます。昨年は大変お世話になりました。私たち「市民連合」は、今年も市民本位の市政を目指し、市議選に向け頑張ります。

求職者再就職支援事業(550万円)

【観光文化交流部門】

●わくわく江津湖フェスタ開催経費(H26～H27年度1,760万円) ●全日本女子レスリング強化合宿広報等準備経費(50万円)

【都市建設部門】

●道路舗装打換経費(H26～H27年度1億5,000万円) ●レンタサイクル管理運営業務委託(H26～H27年度債務負担行為560万円)

【一般質問】

市民連合からは、西岡誠也議員が登壇し、「将来を見据えた行政運営」「少子化対策と労働政策の市長の考え」などについて質問を行いました。

採択された意見書

- 40人学級再開検討に反対する意見書
- 「農協改革」に関する意見書
- 「女性が輝く社会」の実現に関する意見書
- 地域の中小企業振興策を求める意見書

※今回、市民連合として、「山村振興法の延長と施策の拡充を求める意見書」と「解釈改憲による集団的自衛権行使容認の閣議決定の撤回を求める意見書」を提出しましたが、不採択となりました。

第4回定例会(12月議会) 常任委員会 予算決算委員会 各分科会 報告

総務委員会 田尻将博 西岡誠也

市議会に提案された補正予算は、予算分科会と予算以外の条例や陳情、所管の報告事項などを審議する委員会が構成されている。今回の分科会での補正予算審議は、債務負担行為(予算が年度を超えて債務を認める制度)補正として26年～27年度で市役所駐車場管理業務委託2千万円、庁舎昇降機設備

守点検査業務委託1千2百万円、消防艇船舶保険料110万円の3件が提案された。庁舎の駐車場管理業務委託では駐車場の使用時間で朝の混雑を解消するため開門時間を早める要望等がなされた。また、マイナンバー制度導入に伴う、熊本市情報公開・個人情報保護審議会条例の一部改正など8件を審議した。

企画教育市民委員会 東上田すみよ 芳裕

今議会では、いじめ問題や小中学校のバリアフリー課題への対応を議論するとともに、補正予算では、マイナンバー制の平成28年度稼働に向け、その対応としてのシステム構築経費が債務負担行為(次年度に支出を約束する経費)として、総額約57億円が計上された。本市では市全体の情報システム改修

業に平成21年度から取り組んでおり、このマイナンバー制とも整合性あるシステム構築に向け対応している。当初50億円程度から総額100億円を超えるシステム開発対応となっていることから、入札価格の適合性・透明性を明確にすること、システム開発の進捗管理の徹底を強く要望した。

福祉子ども委員会 福永洋一

委員会では、補正予算案3件・条例案等7件の審議と、「第3次地域福祉計画・活動計画」(仮称)子ども輝き未来プラン等の案案についての報告があった。予算関連の審議では、生活困窮者対策としての相談窓口設置について、専門的な人の配置や職員増により、きめ細かい行政サービスを提供し、他都市のモ

デルとなるよう要望した。指定管理者の指定にあたって、市として経費削減だけの目的だけでなく、業務の専門性や継続性を保つために、職員の所得などの水準についてのチェックの必要性を指摘した。障がい児の放課後デイの施設整備や保護者のレスパイト対応の早急な改善策を要望した。

環境水道委員会 家入安弘

議案審査のあり方として「指定管理者」の指定について議論した。議案審査の際は、総合的な判断が行えるよう候補者選定委員会の審査結果や、関連予算などの説明資料を具備してほしいという要望が出された。指定管理者制度の導入は、利用者のサービス向上が第一義であるので、制度導入による効果

について現行の定期的なモニタリング調査の結果を数値化し、今後、特に検証を行ってほしい旨の意見や要望が出された。委員会としては総合的に「指定管理者」の認定や審査について、よくよく検討を重ねてほしい旨の発言が、各委員から出された。付託された3件の議案は全員異議なく可決された。

経済委員会 田辺正信

今回の主な補正予算は、農政商工部門では、県民百貨店の閉店に伴う再就職問題等への対応として、雇用相談窓口設置経費と合同就職面談会開催経費等、求職者向けの資格取得講座開催等委託料、テナント移転助成負担金補助及び交付金が提案された。観光文化交流部門では、来

4月に本市で開催される全日本女子レスリング強化合宿の広報等準備経費、熊本城復元整備基金積立金等が提案された。今回も、県民百貨店閉店後の雇用問題について委員から指摘があり、再開発の当事者としての責任ある対応が求められた。

都市整備委員会 田上辰也

本市バス事業が昭和2年の事業開始以来、88年の歴史に幕を閉じることが提案された。その軌跡を記録集として作成するとともに、引き続き本市のリーダーシップのもと、民間4事業者のバス路線再編に取り組みたいと要望があった。市営バスが都市バスに譲渡されただけにならないよう引き続き監視し

ていきたい。本市で雇用した市営バス専任職員の今後について、親身に対応していくよう要望した。●レンタサイクルの利用者は増加傾向にあるものの、民間活力のみでの事業運営は厳しいと考える。行政による一定の経費負担も視野に入れ、観光との連携を強めるなどのあり方を検討されたいと要望が出された。

みなさん こんにちは 熊本市議会議員 田尻将博からあなたへ



総務委員会報告

「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」大西新市長が所信表明で目指す方向示す

委員会報告前に、大西新市長の議会でのあいさつを紹介し記録に残したいと思います。

130項目のマニフェスト「熊本の未来を創る政策集」をとりまとめ、この実現に向け誠心誠意取り組むことを約束しました。このマニフェストは市内各地域で延べ1,200人の市民の皆さんから意見を伺ったもので、地域の様々な課題、市役所に対する期待や改善に向けた要望を聞き、市政に対する関心の高さを実感しました。

さらに市政運営として「聞く姿勢・話す姿勢・動かす姿勢」を心がけ、「誰もが憧れる上質な生活都市くまもと」の実現に向け、議員への協力要請の所信でありました。

そして、27年度当初予算編成の過程や総合計画の全面見直しなどの示唆がありました。

当選後初の議会を経験した新市長は、所信表明や議員への回答など、大変緊張したと感想を述べられていたが、私どもにとっては市長の姿勢や質問への回答状況を見ると、さすが秘書・県議経験から無難なスタートがなされたようです。

トップが変われば様々な部署で見直しが始まり、市政全体が市長と共に新たなスタートとなります。職場や職員にとってどう変化するかは予測がつかないが、新たな気持ちでのスタート



県民百貨店やセンタープラザの閉店に伴う雇用対策経費が削減された。

は歓迎したいものです。

さて、第3回12月定例会の一般会計補正予算は、各委員会とも喫緊の課題への対応や事業推進上やむを得ないものを中心とした予算で、「県民百貨店等の閉店に伴う雇用対策経費」「社会保障・税番号制度等情報システム関連経費」に、各局が抱える事業の債務負担行為補正が大半でした。総務関係では今年度中に入札等の契約事務を実施する、市役所駐車場管理業務委託、庁舎昇降機設備保守点検業務委託、消防艇船舶保険料の3件が提案されました。

駐車場管理業務委託関係では駐車場の開門時間を早めてほしいとの要望があり、消防関係では各地域に存在する防火水槽の回収について要望が出されました。



明けましておめでとうございます。今年も節目の年を迎えました。4半世紀、数多くの皆様のご指導とご支援を受け、地域活動や政党活動、議会活動と走り続けてまいりました。そしてこの4年間は、政令市初の副議長や市議会党派市民連合の団長として、

議会中の12月12日に大西新市長に対し「平成27年度熊本市政策要望書」を提出しました。要望書は7政策、30項目、108質問から構成されています。詳細内容は、後援会パンフやホームページ

大西新市長に政策要望書を提出

います。そして区役所は区民と一緒に活動することが身近な区役所の第一歩だと思います。区のシンボルづくりや、市政だよりの区からのお知らせ、一般紙による区の話題記事発信は効果が

役所と好印象です。また、各校区での地域活動が新たなまちづくりと進化し、校区の新たな力となつていきます。その源は区が交付する「地域コミュニティづくり支援補助金」の

角度を変えた議会の姿を経験することができました。私どもは議会活動の一環として、市民連合が目指す政策や要望を毎年文書で市長に提出しております。昨年は市長選挙の関係で

シに掲載しており、ご要望があれば郵送いたします。さて、本市は政令市に移り、私どもは「政令市になつてよかった」と実感できるといふような区政を目指して

あります。そして特に「まちづくり推進課」や「保健子ども課」の職員の方々が、自治会中心のまちづくりや、校区の健康対策に力を入れる姿は、地域にとって頼れる区

存在と思います。池上校区ではまちづくり委員会を中心に、小学校と地域が一丸となり、支援補助金を活用した伝説の味生の池の「赤龍・青龍」を誕生させました。区役所がスタートして3年目、まだまだまちづくりは始まったばかりです。今後もさらなる支援補助金の充実を要望したいものです。



議員活動記

毎年、政策を作り実現に向け活動 私たちは市政に物申す政策集団です

議員として活動する範囲は広く限りがありません。拘束される議会や委員会、行政会議、主催イベント、行政視察等120日程度であり、また議会内活動として毎週月曜日の午前中、各局の政策聴取、よろず情報の収集、政策づくり、各議員の情報共有のため会派として会議を開催しています。日頃は支援団体等の会議、週末や休日・夜間は地域の各種団体の会議や活動、陳情要望活動、冠婚葬祭、地域行事の企画運営など、あつという間に1年が終わります。その繰り返して24年間の歳月が過ぎました。

今回の活動記は議会内活動として、毎年市長に申入れる「政策要望書」について紹介します。私ども市民連合（連合熊本推薦議員団8人で構成）は毎年秋に市長に対し、政策要望書を提出し政策実現のため活動を展開しています。今回も大西新市長に提出しました。

要望書の概要について紹介したいと思います。政策のコアは「持続可能な政令市くまもとの発展に向けて」をテーマに7項目のサブテーマ。30項目の具体的政策。108の質問事項から構成、7項目のサブテーマを紹介します。

1. 頼れる市役所を目指して。人事管理、指定



防災対策上、新型の消防車も過去購入された。

1. 頼れる市役所を目指して。人事管理、指定管理者制度、防災対策・地域防災力から構成。
2. 暮らしと命を守る。こどもの健康と福祉、高齢者対策、障がい者の社会参加などで構成。
3. 人を創る。学校教育の充実と支援体制の強化、学校施設・環境整備の充実から構成。
4. 人の尊さをまもる。男女共同参画による共生社会づくりなどで構成。
5. 地域を豊かにする。観光・コンベンションの振興、農水産業の活性化などで構成。
6. 未来を築くまちづくり。道路整備、住宅政策、鉄道・公共交通の体制強化などで構成。
7. 未来へ引き継ぐまちづくり。地球にやさしいまちづくり、地下水を活かしたまちづくりなどで構成。詳細はHPをご覧ください。ご要望があれば郵送します。



市政に関するご意見やご相談、また地域のご要望などはお気軽にどうぞ！

熊本市議会議員 田尻 将博

〒860-0061 熊本市西区上高橋2丁目8番16号
TEL329-4339 FAX329-4778
http://www.masahiro-chan.jp
E-mail:masahirotaguchi@tkz.bbq.jp

手取本町の1

「大義なき解散・総選挙」
「年末の多忙の時に...」
「忘年会の予約のキャンセルが相次いだ」と恨み節が聞かれた総選挙。「安倍総理の、安倍総理による、安倍総理のための総選挙」と揶揄されたが、結果はご存知の通りとなった。さて、いつも思うのだが、安倍総理は馬鹿丁寧な言葉遣いをするが、言動は一致しない。「福島原発事故は完全にコントロールできています」「デフレから脱却して株価も賃金も上がりました」と言うが、放射能汚染水の処理も進まず、また物価は上がり賃金は下がっており、国民の大多数は景気回復の実感が無い。恩恵を受けたのは株主と大企業や一部のサラリーマンで、中小企業や非正規労働者、高齢者などは放置されたまま。かつて総理は「美しい国・日本」を掲げたが、総理のいう美しいとは何か。昨秋亡くなった高倉健さんは「人を想うことがいかに美しいことか。人を感動させるのはお金でも力でも物でも無い、人間が人間のことを想う、これ以上美しいものはない」とインタビューに答えた。安倍総理の心には生活を切り詰めて暮らす庶民のことを想っていないようだ。第一次安倍内閣時代、総理は「野党は格差ばかり言う」と息巻いた。第二次安倍内閣のアベノミクスは、格差を改善するどころか、ますます拡大させている。丁寧な言葉とは裏腹の本音をしっかりと見抜いていこう。